

墨田区のお知らせ

No.2021

2022年(令和4年) 1/1

毎月1日・11日・21日発行

- ◆2面以降の主な内容
- 2・3面・・・新春対談 応援する中で生まれた絆を活かして
- 4面・・・新型コロナウイルス感染症の関連情報等

ひと、つながる。 墨田区

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

墨田区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<https://www.city.sumida.lg.jp/>



謹賀新年

葛飾北斎「雪月花 隅田」
すみだ北斎美術館蔵

隅田川の雪、淀川の月、吉野の桜を描いたシリーズの1図。本図右下の祠が、隅田川の総鎮守とされる隅田川神社(堤通二丁目)である。隅田川の雪の日の静寂さを感じられ、静かな気持ちで1年を始めるのにふさわしい作品。



新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、本年も、区民の皆さんの安全・安心を第一に、社会経済活動の活性化や賑わいの創出と、感染症対策が両立するすみだらしい新しい日常の定着に向けて、全力で取り組んでいきます。

また、本年は、「墨田区基本計画」の中間改定を行い、「暮らし続けたい、働き続けたい、訪れたい」まちの実現に向け、本区の未来につながる施策を推進します。

さらに、「SDGs 未来都市」として、「誰一人取り残さない」社会をめざし、人と人がともに支え合う持続可能な「すみだ」の実現に向けた取組を進めていきます。

新しい年が皆さんにとりまして、希望に満ちた輝く一年となりますよう心から祈念しますとともに、今後も、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和四年一月一日



墨田区長
山本 亨



墨田区議会議長
木内 清

区公式 SNS等

フェイスブック



ツイッター



インスタグラム



ユーチューブ



☎ = 電話 FAX = ファクス ㊚ = Eメール

🌐 = ホームページアドレス





三浦 浩さん (写真左)
パラ・パワーリフティング選手
ロンドンパラリンピック・リオデジャネイロパラリンピック・東京2020パラリンピック日本代表

山本 亨墨田区長 (写真中央)
特技の剣道は教士七段で、プライベートでは剣道の指導を行う

横田 葵子さん (写真右)
元 新体操(団体)選手
リオデジャネイロオリンピック日本代表、東京2020オリンピック日本代表選考メンバー

新春対談

応援する中で生まれた絆を活かして

墨田区ゆかりのアスリートである三浦浩さんと横田葵子さんをゲストにお迎えし、新春対談を行いました。東京2020オリンピック・パラリンピックやこれまで選手生活での経験を通して得た気付きなどをお話しいただきました。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223

1年を振り返って

まずは、お二人に昨年1年を振り返っていただきたいと思います。昨年は、1年間の延期を経て、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されましたが、お二人にとって、どのような1年でしたか。



大きい大会が本当に多かったと思います。横田さん 東京2020大会が1年延期となり、精神的にも様々な面で大変な部分がありました。結局、私はけがで最終メンバーから外れてしまい、もちろんすごく悔しい思いもありましたが、今までできる限りの練習をしてきたので、やり切ったという気持ちが大きかったですね。新体操の日本代表を8年間務めましたが、引退後も後悔なく、現在は新たな気持ちでいろいろなことに挑戦しています。

区長 元々2020年をめざしていたということで、大会が延長になった1年間、コンディションの調整やモチベーションの維持など、本当に大変だったんだろうなと思います。墨田区ゆかりのアスリートということで、区を挙げてお二人を応援してきましたが、お二人には本当によく頑張っていたという感謝の気持ちでいっぱいです。

競技の魅力とそれぞれの道

東京2020大会を通して、お二人の競技に興味を持った方も多と思います。競技を始めたきっかけや、競技の魅力を教えていただけますか。

三浦さん 競技をする側の魅力としては、常に記録が上がったり下がったりはしま

すが、記録によって自分の成長が見られることですね。パワーリフティングを始めたのは、400kgの物が倒れてきて支えられずに背骨が折れてしまったので、逆に400kg持ち上げられる体を作ろうという思いからでした。だから、重い物を持ち上げるのには、普段は出し切れない力の発散とか、心の叫びというか、言葉にすることが難しいものかじみ出る楽しさがあると感じています。

また、見る方は重さは感じられませんが、僕らの競技は意外と照明や映像、音響などで、エンターテインメント性がある試合づくりをしているんです。試合の間には会場でBGMが流れていますが、選手がベンチ台に寝転んだ瞬間に会場が静寂に包まれる場面や、上げ終わった後、判定が成功か失敗かという場面、緊張感を選手と一緒に味わえるところが競技の最大の魅力だと思います。

横田さん 私は小さい頃、フィギュアスケートの浅田真央さんに憧れて、「オリンピックに出る」という夢を持つようになり、新体操を始めました。新体操は団体競技と個人競技がありますが、私は団体競技をやってきました。魅力は華麗で美しい2分半の演技でしょうか。その2分半のために毎日

8時間~10時間、体を酷使しながら練習していて、本当につらくて辞めたいと思うことも実は何回もありました。でも、試合のときに、たくさんの方に「感動した」「元氣になれた」と言ってもらえたり、喜んでもらえたりするのが本当に嬉しくて、ここまで続けることができました。

区長 私は剣道をやっている、仕事のことなどは何も考えず、集中して相手と竹刀を交えるひとときが、私の人生には必要だと感じていますが、お二人のようにアスリートとして自分を奮い立たせて、日の丸を背負って勝負に行くというのは本当に尊敬します。お二人とも、素晴らしいなと改めて思いますね。

三浦さんは東京2020大会で出場された階級では最年長。年齢や障害に関係なく頑張る姿は素晴らしいと思います。

三浦さん 実は、東京2020大会が1年延期になった影響でスケジュールが詰まり、今年も国際大会や国内での大会が目まぐるしくあるんです。少し休みたいなという気持ちもありますが、区内を歩いていると「パラリンピックお疲れ様でした。これからも頑張ってください!」とお声掛けいただくので、応援してくれる方がいると、「まだまだやらなくちゃ!」という気持ちになりますね。

三浦さんは大会後、母校の第三吾妻小学校や寺島中学校等で講演を行っていただきましたね。

三浦さん 講演では、パラリンピックの意義や、今後共生社会をつくるために必要なことについてお話ししました。パラ・パワーリフティングの映像とともに、ルールを説明したところ、皆さんかなり食い付いて見てくれたので、パラスポーツを知ってもらいきっかけになったと思います。

区長 三浦さんのような方から生の言葉が聴けるといのは、子どもたちにとって非常に大きな経験となりますし、パラスポーツや共生社会への理解につながりますね。



横田さんは競技を続ける秘訣や工夫がありましたか。

横田さん 私は小学校4年生から新体操を始めて、始めるのが遅い方でした。でも、本当に負けず嫌いなので、競技経験が短いことを不利な点にたくなくて、毎日必死に練習していましたね。その結果、オリンピックに出場するなどいろいろな経験ができました。だから、あることに夢中になるというのは、すごく大切だと思います。

横田さんは今後、次の世代に新体操の良さを伝える活動にも挑戦したいとおっしゃっていましたね。

横田さん 社会に出たいという気持ちがあったので引退する前から会社員として働いていますが、嬉しいことに、引退後も次世代の育成に力を貸してほしいなど、様々なオファーをいただいています。私が経験したことは、新体操をやっている方のうち、本当に一握りの方しか経験できない貴重なことなので、今後は仕事との両立を考えながら、可能な範囲で自分の経験を伝えていきたいと思っています。

区長 昨年解説を務められた世界選手権は、横田さんご自身が2019年に金・銀メダルを獲得されています。横田さんが浅田真央さんに憧れて始めたように、横田さんに憧れて新体操を始める子どもたちもいると思うので、ぜひ、貴重な体験を子どもたちに伝えてほしいですね。

墨田区はどんなところ？

お二人にとって墨田区はどんなところですか。

三浦さん 私は生まれも育ちも墨田区で、やっぱり親しみがあってここから離れられないなと思います。

横田さん 新体操を始めて少ししてから海外に滞在することが多く、あまり帰ってくる機会がなかったんですが、皆さんがポスターや垂れ幕などを作ってくれたおかげで、帰ってくるたびに元氣や勇気をいただき、それが自分の頑張る源になっていました。

お二人のことを、多くの区民の皆さんが応援しています。ぜひ、区民の皆さんへメッセージをお願いします。

三浦さん 私は年齢とともに戦っているので、ぜひ、皆さんに引き続き応援していただきたいです。それから、皆さんにも年齢に負けずに、健康を維持していただきたいなと思います。

横田さん 私は現役生活に一度区切りをつけ、社会人として生活していますが、たくさんの方々のおかげでここまで頑張ることができました。また、コロナの影響で本当に大変な状況の中、開催できた東京



2020大会も、皆さんのおかげだと思っています。この感謝の気持ちを、違うかたちでどんどん恩返ししていきたいです。区長 お二人のことを、区民の皆さんとひとつになって応援してきましたが、このような感謝の気持ちを表していただけると、本当に嬉しく感じますね。コロナの影響で大変でしたが、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催できてよかったと改めて思います。お二人を皆で応援する中で、絆やつながりができたことも大変嬉しく思います。

2022年の抱負を聞かせてください。

三浦さん 引き続き、区内の小・中学校等でパラリンピックの経験を伝えていきたいと思っています。小・中学生たちと触れ合うと、自分ももっと頑張らなくちゃと思えるんですよ。その子たちが応援してくれるようになったら、さらに力になりますね。また、皆さんには、東京2020パラリンピックが終わった後も、次のパリ大会まで同じ気持ちと熱量を維持していただきたいです。そのためには自分も頑張る努力しなくてはなりませんし、競技者としても出場をめざしていきたいと思っています。

横田さん 私はリオデジャネイロ大会後、一度母校の両国中学校で講演させていただきましたが、その後はなかなか日本にいたことがなくて、区内ではオリンピック選手としての活動があまりできていませんでした。今後は、新体操やオリンピック・パラリンピックを応援して下さる方が少しでも増えるよう、活動していけたらいいなと思っています。

区長 お二人のすみだへの想いがひしひしと伝わってきました。区民として、お二人のことを誇りに思います。三浦さん、横田さん、今後もお二人のご活躍を期待しています。

そして、私も区長として、障害のある方もない方も誰もがスポーツに親しみ、楽しむことで生涯にわたって健康でいきいきと過ごせるまちをめざしていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の電話相談窓口

以下の情報は、令和3年12月17日時点のものです

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来所相談は行っていません。ご理解・ご協力をお願いします。

一般的な相談窓口

新型コロナウイルス感染症の特徴・予防方法、心配な症状が出たときの対応など

厚生労働省「新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口」

日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語での相談可

フリーダイヤル ☎0120-565-653

午前9時～午後9時(土・日曜日、祝日を含む)

*タイ語は午後6時まで、ベトナム語は午後7時まで

都「新型コロナ・オミクロン株コールセンター」

日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ネパール語、ミャンマー語、フランス語、ポルトガル語など12か国語での相談可

ナビダイヤル ☎0570-550-571

午前9時～午後10時(土・日曜日、祝日を含む)

聴覚障害のある方 FAX5388-1396

相談票に記入のうえ、送信

発熱などの症状がある方の相談先

かかりつけ医がいる場合

必ず電話で日頃受診している医療機関にご相談ください。

かかりつけ医がいない場合や相談先に迷う場合

診療や検査が可能な地域の医療機関をご案内します。

東京都発熱相談センター ☎5320-4592

24時間対応(土・日曜日、祝日、年末年始を含む)

墨田区発熱・コロナ相談センター ☎5608-1443

月曜日～金曜日の午前9時～午後5時(祝日、年末年始を除く)

*新型コロナウイルス感染症による不安やストレスなどについても相談可

*混雑時は電話が繋がりにくい場合あり

*診察が可能な区内の医療機関の一覧は区ホームページでも閲覧可

後遺症にお悩みの方の相談先

電話の際に、「後遺症の相談」とお伝えください。

墨田区後遺症相談センター ☎5608-1443

月曜日～金曜日の午前9時～午後5時(祝日、年末年始を除く)

【問合せ】保健予防課感染症係 ☎5608-6191

*新型コロナウイルス感染症に関する最新情報は区ホームページを参照



早めの接種をお願いします 新型コロナウイルス予防接種

新型コロナウイルス予防接種が無料で受けられる期限は、9月30日までです。

接種を希望する方で、まだ1・2回目の接種を受けていない方は、お問い合わせください。

また、ワクチン接種に関する最新情報は令和3年12月10日発行の新型コロナワクチン特集号や区ホームページをご覧ください。



墨田区コロナワクチン接種問い合わせダイヤル

☎0120-714-587

*午前8時半～午後5時15分(年末年始を除く)

*日本語、英語、中国語、韓国語での相談可



墨田区新型コロナワクチン接種広報大使「わく丸」

ご注意ください

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本紙に掲載されている記事は、内容(期日や施設等)が変更または中止となる場合があります。また、日程により、閉館や利用の縮小をしている施設等もあります。最新情報は各申込先・問合せ先へご確認ください。

資源の有効活用にご協力を 古着・水銀体温計等の回収とフードドライブ

ご家庭で不用になった古着や水銀式体温計・血圧計等を回収します。同時に、ご家庭で余っている食料品等を回収するフードドライブを実施します。

【回収日時/回収場所】▶1月22日(土)/みどりコミュニティセンター(緑3-7-3) ▶1月23日(日)/若宮公園(本所2-2-19)

*いずれも午前9時～午後2時【回収品目】洗濯済みの古着、靴、ぬいぐるみ、金属製調理器具、賞味期限まで1か月以上の食料品、ペットボトルキャップ、使用済歯ブラシ、水銀式体温計・温度計・血圧計

*1月23日は水銀製品を除く *汚れや破損、材質など品物の状態により回収できない場合あり *詳細は問い合わせるか、区ホームページを参照【対象】区内在住の方

*事業者を除く【費用】無料【持込方法】水銀製品はケースに入れるか、新聞紙等に包み、そのほかはそれぞれ別の袋に入れて当日直接会場へ

*車でのご来場は不可【問合せ】すみだ清掃事務所分室 ☎3613-2228

31日はサイクルの日 自転車のリユース・リサイクルと羽毛布団のリサイクル

ご家庭で不用になった、まだ乗ることができず自転車リユース・リサイクル事業と、羽毛布団のリサイクル事業を実施します。なお、粗大ごみとしての回収ではありません。

【回収日時/回収場所】1月31日(月)午前9時～午後2時/すみだ清掃事務所(業平5-6-2)【回収品目(自転車)】乗車可能な次のいずれかの自転車▶大人用自転車▶子ども用自転車▶電動アシスト自転車▶マウンテンバイク▶折り畳み式自転車

*パンクしているものも可 *ストライダーは不可【回収品目(羽毛布団)】ダウン率50%以上のもの【対象】区内在住の方 *事業者を除く【費用】無料【申込み】1月4日から▶自転車=氏名(カタカナ)、電話番号、自転車の種類・台数、来場時間を▶羽毛布団=氏名(カタカナ)・電話番号・枚数・来場時間を 電話またはEメールで、すみだ清掃事務所 ☎5819-2571・E31-RECYCLE@city.sumida.lg.jpへ

*受け付けは1月22日まで

あなたの今日が、だれかの明日に ハタチの献血 「はたちの献血」キャンペーン

1月と2月は「はたちの献血」キャンペーン月間です。体調を崩す方が多い冬の時期は、献血者が減少し、必要な血液量の確保が難しくなります。「はたち」を迎えた新成人の方をはじめ、多くの方の献血へのご理解とご協力をお願いします。献血の日時・会場はお問い合わせいただくか、東京都赤十字血液センターのホームページをご覧ください。

【問合せ】▶東京都赤十字血液センター ☎5272-3523 ▶保健計画課保健計画担当 ☎5608-6190

毎月5日は すみだ環境の日 1月のエコしぐさ 食べきって 作った方にも 感謝する 墨田区環境キャラクター「地球くん」

年始の急病のときには

*受診前に必ず電話連絡が必要 *受診の際は健康保険証や医療証等を必ず持参 *区内病院の外来・発熱外来診療体制については、本紙令和3年12月21日号1面を参照



墨田区休日応急診療所

【診療日】日曜日、祝日、年末年始 *1月1日(祝)～3日(月)も診療あり【受け付け】午前9時～午後9時半【ところ/電話番号】すみだ福祉保健センター(向島3-36-7)内/☎5608-3700 *事前連絡がないときは、一度帰宅をお願いする場合あり【診療科目】内科、小児科

すみだ平日夜間救急子どもクリニック

【診療日】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) *今日の診療は1月4日(火)～【受け付け】午後7時～9時45分【ところ/電話番号】同愛記念病院(横綱2-1-11)救急外来内/☎3625-1231【診療科目】小児科(15歳以下の急病患者)

歯科・整形外科応急診療医院

*整形外科は医院名の後ろに(整)と記載

Table with 2 columns: とき (Time) and 医院名・ところ・電話番号 (Hospital Name, Location, Phone Number). Rows include 1日(祝), 2日(日), and 3日(月) with specific hospital names and phone numbers.

①いずれも診療時間は午前9時～午後5時です。歯科の受診については、事前に電話でご予約ください。②1月9日(日)以降の休日の歯科・整形外科応急診療医院については、本紙令和3年12月21日号3面「すこやかライフ」をご覧ください。

東京消防庁「救急相談センター」(24時間受け付け)

救急車を呼ぶべきか迷ったときや、医療機関を探しているときに、ご相談ください。【電話番号】▶携帯電話・PHS・プッシュ回線=☎#7119 ▶ダイヤル回線(23区)=☎3212-2323

都医療機関案内サービス「ひまわり」(24時間受け付け/同ホームページからも検索可)

【電話番号】☎5272-0303【聴覚障害者専用ファクス番号】FAX5285-8080